

平成30年度 第2回 学校運営協議会 会議録

平成30年11月27日(火) 11:00～ 毛利台小学校会議室

1 会長あいさつ

寒くなってきたが、今日は天気が良い。短い時間の中での話し合いよろしくお願ひしたい。

○運動会の児童用テントの設営の協力を感謝している。天気に恵まれず、2日間での開催だったが、子ども達にとって、テントの設営は、とても良かった。保護者の方や地域の方も手伝っていただいて、ありがたい。小さな活動だったが、コミュニティ・スクールの活動の一つとなった。

○10月29日に開催された市のフォーラムに出席した。他校の実践や講演を聞き、様々な情報を得た。毛利台小として、どのように進めていくのか、実態に即した毛利台小式の運営協議会の活動を展開していきたい。

2 学校長あいさつ

1回目の学校運営協議会はとても有意義な会になったので、今回も楽しみにしていた。学校を保護者の方、地域の方のサポートがあり精神的な安心感がある。先程、会長のあいさつでも触れられていたが、運動会の児童用テントの設営に多くの方に協力してもらい感謝している。コミュニティ・スクールの取組は始まったばかりなのだが、このように協力してくださる活動が多くあり、地域の中の学校だということを感じている。

3 案件

(1) 学校全体について

○インクルーシブ教育について

(毛利台小学校のインクルーシブ教育の概要を構想図や職員向け通信、校内研究だよりを用いて説明)

○保健室来室状況等

- ・児童の欠席は、個々で苦戦をしている児童もいるが、今年度は横ばい状況が継続している。
- ・保健室の利用状況も各月とも学年ごとの差が少なく、落ち着いている。地域や保護者のおかげ。

○問題行動等調査

- ・いじめの認知件数は昨年度より増えている。しかし、教師の認識が高く、小さな問題でも対応をすすめる心構えができているための結果だと考える。
- ・不登校は、減少傾向である。

○全国学力学習状況調査

- ・ほぼ全国平均並み。
- ・算数Aの問題が全国平均をやや下回る。割合や分度器の使い方など基礎基本の定着がより一層必要。
- ・質問紙の状況は良好。自己肯定感の高い児童が多い。

○次年度の教育課程

- ・次年度は、祝日が多く、授業時数が少なくなるため、2学期の始業式は今年度と同じように8月に設ける。⇒承認されたため、次年度は8月28日(水)2学期始業式とする。

○次年度の校庭改修に伴う運動会等行事の変更

- ・校庭改修期間が、7月20日から9月の中旬になる予定のため、例年通りの秋季運動会開催が難しい。次年度は、春季運動会とし6月1日に開催とする。

(2) 平成30年度の各部の取組について（各部に分かれて）

- ・確かな学び部会
- ・子ども支援部会
- ・安心安全地域協働部会

(3) 各部からの報告

確かな学び部会

○学習のボランティアとして

- ・スポーツテスト ・作品応募取りまとめや名簿作り ・のびっこルーム ・外国籍の児童への支援
 - ・家庭科（調理・裁縫） ・体育・図工の準備や後片付け ・理科（実験の準備・後片付け）
- いろいろな学習の場で応援ができる。

サポート委員会・読み聞かせのボランティアなどの素地があるので呼びかければ人材は集まりやすいと思う。

※学校でリストアップして、内容・時期を学年はじめに周知すれば対応しやすい。

○人材を集めるために⇒今後に向けて課題

- ・人材バンク的な組織を作るのがいいのか？
- ・無理のないところで運営協議会のメンバーやメンバーの人脈を生かして人材を探す。
→学校が求めている人材の基準を明確にする。
- ・ボランティアをする側・受け入れる側の分担を考える。（トラブルなく行うために。）
- ・学校でサポートをしたり、支援の手伝いをしたりするために必要な心構えを事前に打合せする。
- ・窓口をつくる。協議会内に委員会をつくれるといいが。
- ・コーディネーター的な人材育成をする必要を感じる。

○子どもたちにとって、先生でも親でもない地域の大人と接することができる貴重な体験である。

子ども支援部会

○「こころの教室」のボランティアについて

- ・誰がするのか→地域の高齢者がいいのでは。

ボランティアでも、責任はどうなるのか。人数は2・3人のグループをつくる。

- ・回数は→週3回（元気アップアシスタントの先生が来校しない曜日）

複数の方が関わることで子ども達のニーズに対応できる面、対応が難しい面が出てくるだろう。

○外国にルーツのある子どもの日本語サポートボランティアについて

- ・ボランティア募集を地域の回覧に出すのはどうか。

毛利台小学区は人材が多いので、すぐに集まる可能性はある。

- ・ボランティアの募集は、民生委員さんなど、この会のメンバーに声をかけるのはどうだろう。
- ・具体的なボランティア活動の内容を示す必要がある。

学校発信で通知文を作成し、グループのメンバーに確認してもらう。

○今後について

- ・様々なサポートは必要。だが、ボランティア活動の内容を明確にし、伝えていく。

安心安全地域協働部会

○前回の議案で出た意見の確認

○水泳指導時の監視について

- ・行事の前に連名でおたよりを出して募集をかけてみる。PTAの協力（2時間で1コマ）
 - ・自治会で呼びかけ…地域の中に水泳指導補助ができる方がいたら
- H31・4おたよりを出す。（学校長、PTA会長、自治会長の連名で）
募集状況を見て、具体的な方法を考えてみる。

○見守り隊の充実・拡大

- ・現在、毛利台小では6名（減少傾向、1番多いときは20名いた）
 - ・強制はしていない。自分ができるときは参加でOKだが。
 - ・登校時はそれほどでもないが、下校時の方が危ない（不審者のような人がいたこともある。）
 - ・募集をかけているが、なかなか集まってこない。→高齢化してきている。
 - ・自主的にやったださる方々もいるが組織に入らない場合も。
- 自治会でも検討し、募集をかけてみる。回覧。12月の自治会で議題に出してみる。
- ・見守りで危ないもの…大きな犬の散歩。塀から大きくはみ出ている植木（歩道が狭くなっている。）

○ヘルメット着用のポスター（PTA作成）

- ・各自治会の掲示板に掲示してもらっている。
- ・親子での自転車（2人乗せる場合も必ず両方ヘルメットを）
- ・地域では、以前より被る子どもが多くなってきている感触を感じる。

○公園の遊び方

- ・鳥山公園で投石…児童指導中。市でも公園を整備して見通しがきくようにしている。

○（委員・見守り隊の方から）全ての通学路を歩いてみたい。

○今後について

- ・清掃・昼休みの安心安全体制→次回までに良い案があったら考えたい。

(4) 質疑・応答

4 事務局から

5 おわりの言葉